

医適を利用した「出向」発令は組織破壊だ！

○運輸区でJR東海労組合員の車掌に大垣CMCへの出向の発令が出されました。発令書には再び車掌には戻れない「54歳原則出向」の旨が書かれていました。そのとき彼の心は怒りで爆発しそうでした。

なぜなら、不整脈が出て産業医から様子を見るために車掌業務ができないと言われたとき産業医は「半年経過を見て症状が出ないようならば再乗務できます」と話しました。運輸区で首席助役と面談したときに「職場を変え半年間症状が出なければ車掌に戻れますがどうしますか」と尋ねられたので、「車掌に戻る」と即答しました。その後2ヶ月間、日勤を続けました。その間に管理者は面談で「症状が半年でなければ職場復帰できる」と繰り返し説明していました。12月に入り大垣CMCへの就労条件が出されたときにも「54歳原則出向ではないですね」と確認したときも「復帰できます」と言われてきました。それが、覆されたのです。

手のひら返しの嘘を繰り返す現場管理者！

これこそ隠蔽！虚偽だ！

地本から鉄事にこれまでの経過を確認したところ「現場でその用な話はしていない」と人事課の森係長が言い始めてから、職場でも「半年で職場に戻れるとは一度も言っていない」「車掌に戻る希望があることはこれまで聞いていない」と180度話が変わってしまいました。本人は車掌に戻れると聞いてきたので車掌に戻る強い気持ちでいたからこそ、ショックも大きく怒りでいっぱいでした。苦情申告を行い、簡易苦情申告を提出しできる限りの抵抗を続けています。

彼は名古屋地本の副委員長であり、業務委員・苦情処理会議の窓口などを担う重要な役員です。出向に出されれば組合活動に大きな支障が生じます。会社はそのことを十分知っていながら産業医の判断を無視して発令を行ったのです。地本はこの発令を副委員長潰しの組織破壊攻撃であり、組織弱体化の策動であり到底認めることができません。副委員長と共に車掌に戻るためできることを全て行うことを話し合い確認しています。

平気で嘘をつく係長と管理者は怒りを通り超え悲しい存在だ！